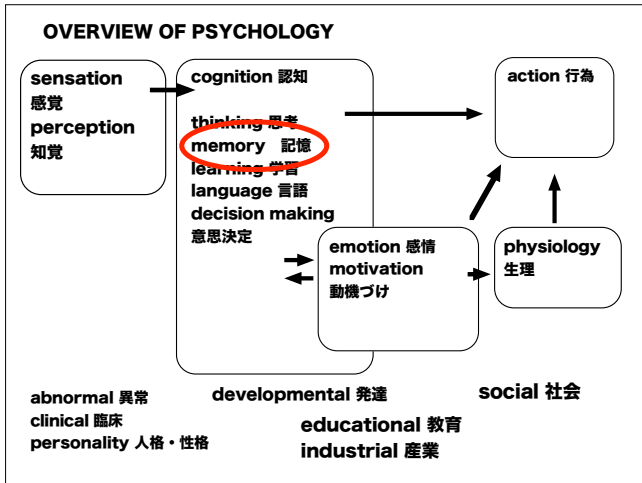




記憶は情報の貯蔵庫？ どうやら現代の記憶心理学は異なった見解を提出しつつあります。たとえば、..

アイリーン・フランクリン事件

1969年9月 カリフォルニア州フォスターシティ市スーザン・ネイソンちゃん8才が失踪

1969年9月 カリフォルニア州 ハーフムーンベイロードで死体発見

20年後、..

1989年9月 アイリーン・フランクリン(29才)が警察へ通報。

実父ジョージ・フランクリンがスーザン・ネイソンちゃんを撲殺するのを見ていたことを「突然思い出した」と。

逮捕，起訴，裁判，..

一番 ジョージ・フランクリン有罪。収監。（後日談あり）



記憶心理学としての問題いくつか浮かびあがってきます。

超長期（20年）の後に「突然思い出す」？

→心理学（学術心理学）vs 精神分析学

「思い出す」としても，その内容は正確であるのか？

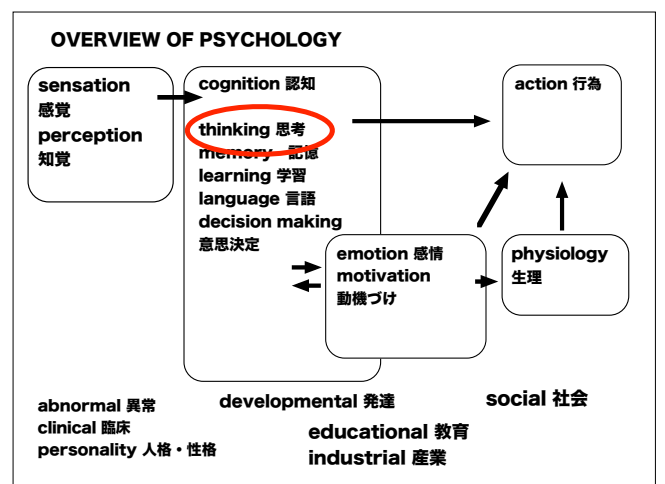
→法と心理学

→記憶の移植（捏造された記憶）

現代の心理学は記憶をどのような現象として見ているのか？

→貯蔵庫説の否定

→意識と記憶の接近



夜6時ごろ、2食の前を通りかかったら、一人の人が近付いてきた。
「あの一、俺のこと知らないだろうけど、英語で一緒にのクラスなんです。あしたの英語なんだけど、代返しておいてくれませんか？」

条件1

「じつは、目が変になっちゃって、目医者さんに行かなくちゃならないんだ。」
確かに、彼の左目は真っ赤に充血しているのがあった。 **憐憫→援助**

条件2

「じつは、明日、カノジョとディズニー・ランドに遊びに行くことにしたんだ。」
確かに、彼のうしろには、そのカノジョらしい人が寄り添っているのがあった。 **軽蔑/嫉妬→放置**

文彩表現の心理学 **隠喩(metaphor)**

この授業は地獄だ。
小レポートはカルイが、中レポートはキツイ。
出席点で手を打ってほしい。

話が逃れましたね。
では、本題に入りますか。

伝統的見解

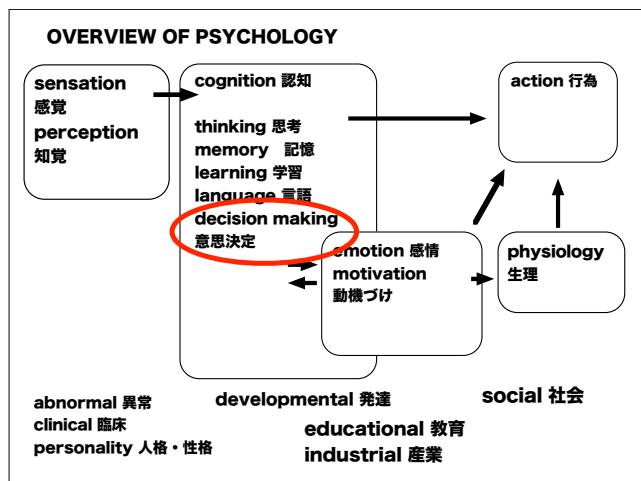
通常の思考/言語 = 文字通り(literal), 直接的, 非隠喩的

隠喩的(metaphorical)/文彩的(figurative)/詩的(poetic)
な思考/言語 = 特殊で異なった認知技能

新見解

人間の認知 = もともと隠喩的/文彩的/詩的

隠喩/換喩/皮肉 <— 詩的思考/言語 = 人間の思考/言語



囚人のジレンマ・ゲーム
The Prisoner's Dilemma

	協力	競争
協力	1, 1 2人とも完勝	-2, 2 1人だけ自白
競争	2, -2 1人だけ自白	-1, -1 2人とも自白

臆病者ゲーム
The Chicken Game

	協力	競争
協力	1, 1 2人とも逃げる	-2, 2
競争	2, -2	-9, -9 2人とも逃げない

恋人ゲーム
The Battle of the Sexes Game

	協力	競争
協力	-1, -1 どちらも譲る	-1, 1
競争	1, -1	-1, -1 どちらも譲らない

早い者ゲーム
The Leader Game

	協力	競争
協力	0, 0	1, 2
競争	2, 1	-1, -1

自分の利得だけで決定

自分の利得を増加

→ 個人主義動機 **individualism**

自分の利得を減少

→ 被虐動機 **masochism**

相手の利得だけで決定

相手の利得を増加

→ 利他動機 **altruism**

相手の利得を減少

→ 攻撃動機 **aggression**

利得の合計だけで決定

自分と相手の利得の合計を増加

→ 協同動機 **cooperation**

自分と相手の利得の合計を減少

→ 攻撃・被虐動機 **sado-masochism**

利得の差だけで決定

利得差を最大化するように自分の利得を増加

→ 競争動機 **competition**

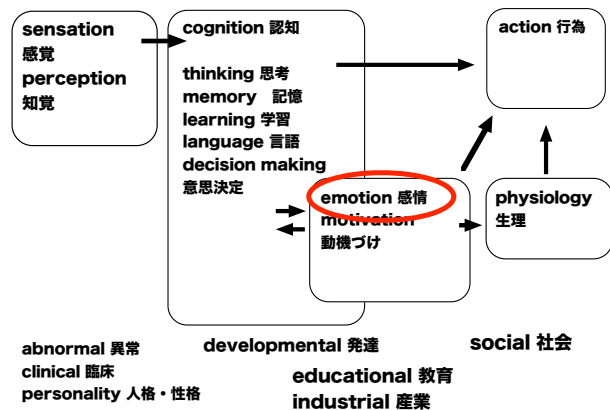
利得差を最大化するように相手の利得を増加

→ 殉教動機 **martyr**

利得差を最小化する

→ 平等主義 **equalitarian**

OVERVIEW OF PSYCHOLOGY



Emotion Intelligence

(TIME誌の特集でEQと)

自分自身の感情を知る： 自分の感情状態の自己認識

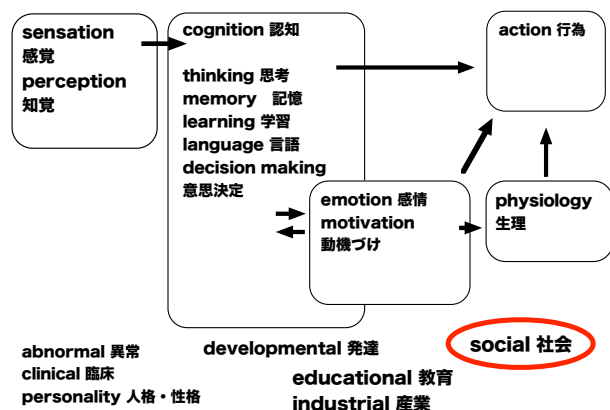
怒りをうまく処理する： 感情の制御/管理

自分を動機づける： 情動の建設的活用

他人の感情を認識する： 共感能力

人間関係をうまく処理する： 対人能力

OVERVIEW OF PSYCHOLOGY



文化心理学の新しい見解

心のプロセス
社会的推論
愛着スタイル
自己評価
やる気
意思決定
感情

心の形成

文化の維持
変容

文化
言語の用法
会話の台本
エチケット
人間観
社会的信念
教育制度

文化心理学の目標

心のプロセス=社会・文化的プロセスの一部

心のプロセス=集団が歴史の中で蓄え、作り出してきたものとして理解する

心と文化の相互依存性

- ・文化によって心の構成が可能となる
- ・心が存在することで文化が構成される

文系基礎科目：心理学

文系基礎科目：認知科学

文系導入科目：心理学の思考法

文系基礎科目：メディア心理学

文系基礎科目：理論言語学

文系基礎科目：神経心理学

文系基礎科目：臨床心理学

総合科目：文学を科学する

総合科目：人間と情報システムの融合

文系専修科目：現代の音楽とテクノロジー